

米軍も認める特殊塗料

LINE-X



Performance Check Part1

米軍も認める特殊塗料のLINE-X。耐衝撃や耐爆破性、強度と柔軟性を併せ持つこの特殊塗料の“強さ”と“カスタム性”のチェックを、2回にわたってお届け。今回はその“強さ”を様々な実験によってチェックしてみることにしよう。

Text&Photo/ Hiroyuki KONDOH

Call/ LINE-X Auto Japan 042-486-8887 www.linex-auto.co.jp

取材協力/ フレックス・ドリーム LINE-X事業部 埼玉 048-793-0077 www.flexdream.jp/LINE-X/saitama/



生卵で
Check!

生卵とLINE-Xをコーティングした生卵を鉄パイプでスイング! 当然、生卵は粉々につぶれたものの、LINE-Xを塗布したものは、衝撃を吸収後バウンド、そのままの姿を留めている。撮影のため数回実験を続けたが、LINE-Xを塗布したものは潰れることはなかった。

ブロックで
Check!



2階からコンクリートブロックを落として、衝撃度をチェック。未塗装のブロックは粉々に砕け散ったが、LINE-Xを塗装したブロックは、割れることもなかった。

重さで
Check!



体重120キロのヘヴィなスタッフが、LINE-Xを塗装した紙コップにのっけては、この通り。当然、未塗装の紙コップは瞬間でクシャッと潰れてしまった。

LINE-Xって? まず簡単に説明しておくと、LINE-Xとは、米政府機関及び重要施設の防護用に構造物強化用のポリマー材として採用される、米軍・政府が唯一認めている塗料。適度な強度と柔軟性を持ち耐衝撃・爆破性と共に、耐摩耗性・傷防止・防錆・防食などなど、高い性能を誇っている。この性能を放っておく手はないと、自動車業界でもUS&UKトヨタやランドローバーがメーカー純正オプションの荷台保護用のスプレーオン・ベッドライナーとして採用。

ここ日本では、フレックス・ドリームが窓口となり「LINE-X Auto Japan」として、トラックなどの荷台の保護はもちろん、カスタムアイテムとして展開している。カスタムに関しては第2回目に譲るとして、今回はその「強さ」を実験でチェックしてみることに。

その結果は写真をご覧になっていただければわかると思うが、卵に関しては実験後に、さらに金属パイプでトスバツティングしても割れなかったことをご報告しておこう。



今回実験のために用意したのは、ブロック、生卵、紙コップ、ポップコーンの紙カップ。これにLINE-Xを塗布。クルマの場合は塗装面が1mm前後だが、今回は極端な実験を行うため、それよりは厚めに塗装してある。紙カップに関しての実験結果は次号で。衝撃の姿が見られるかも。

ポリイソシアネートとポリアミンを反応させたポリウレタ樹脂。そのポリウレタ樹脂を独自の技術で高純度化しているのがLINE-X。適度な強度と柔軟性、そして強力な吸着性を持つため、耐衝撃・耐爆破・防錆・防音・耐摩耗に優れ、自動車メーカーも純正オプションとして、スプレーオン・ベッドライナーなどで使用。その強さと共に、塗膜の経年劣化も極めて遅く、20年以上の使用が可能としている。

What's
LINE-X

